

AIツール公開前チェックリスト

—「作れる」と「公開してよい」は別物

MITSUNOWA LAB | 登録不要・無料 | 医療・介護の現場でAIツールを作った人向け | v1.0(2026-08-15)

生成AIを使えば、現場向けの小さなツールは驚くほど簡単に作れます。でも、それを同僚に配ってよい
か・外に公開してよいかは、別の確認が必要です。精介AIコミュニティで生まれたこの視点を、印刷してそ
のまま使えるチェックリストにしました。

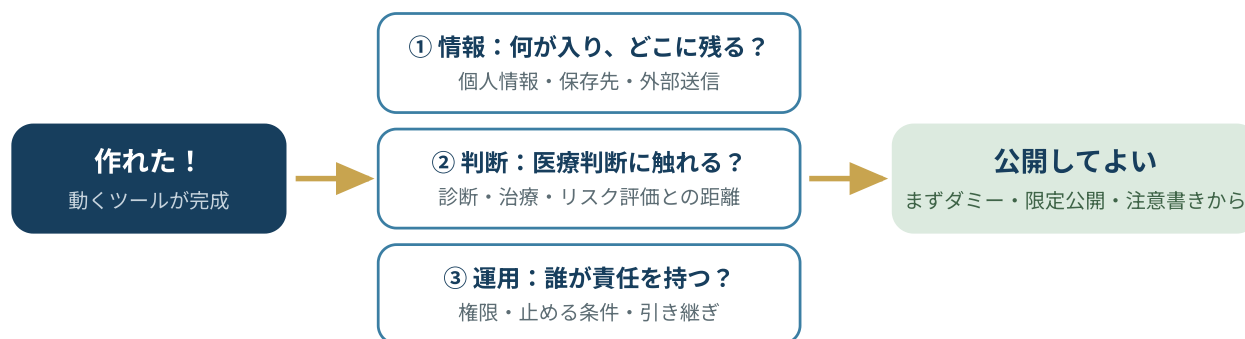


図1 | 「作れた」と「公開してよい」の間にある3つの確認

① 情報のチェック

- ☐ 患者・利用者・職員の個人情報を入力しない設計になっている(入力欄の注意書きも含む)
- ☐ 入力されたデータがどこに保存されるか説明できる(端末内 / 院内サーバ / 外部クラウド)
- ☐ 外部AI・外部APIに送信されるデータの範囲を説明できる
- ☐ 検証はダミーデータで行った(ダミーと明記した)
- ☐ 画面のどこかに「実在する個人の情報を入力しない」注意書きがある

② 判断のチェック

- ☐ このツールの出力は下書き・補助であり、診断・治療・リスク評価の判断をしていない
- ☐ 出力を人間が確認する工程が運用に組み込まれている(誰が・いつ)
- ☐ 間違った出力が出た場合の影響の大きさを言葉にできる(軽微 / 業務影響 / 安全影響)
- ☐ 安全影響がありうるなら、公開せず院内の正式ルートに乗せる判断をした

③ 運用のチェック

- ☐ 自分の権限の範囲内で作った(他部署のデータ・システムに勝手に触れていない)
- ☐ 院内の情報を含む場合、上長・施設の確認を取った
- ☐ 運用責任者と「止める条件」を決めた(作った人が異動したらどうなるかも)
- ☐ 公開範囲を決めた(自分だけ → 部署 → 院内 → 外部、の順で小さく)
- ☐ うまくいかなかったときに元のやり方に戻る

全部にチェックが付かなくても、作ったこと自体が一步です。付かなかった項目が「次に確認すること」リストになります。迷ったら公開を止めて、詳しい人・コミュニティに相談してください。

この資料について

精介AIコミュニティの実際のやりとり(「AIが作ったからOKではない」という気づき)から生まれた資料です。背景の物語は[コラム「AI説明会、見事にスベりました。」](#)で読めます。

改変・院内での再配布は自由です(出典として「MITSUNOWA LAB」を書き添えてもらえたら嬉しいです)。本資料は一般的な確認観点の整理であり、法令・院内規程への適合を保証するものではありません。施設のルールが最優先です。

